

学校法人 東京聖徳学園

聖徳FLASH

聖徳FLASH 第62号
 平成24年10月1日
 発行 学校法人 東京聖徳学園
 〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
 TEL.03-5476-8811(代)

聖徳学園ホームページ
<http://www.seitoku.jp/>

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属女子高等学校
- 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学附属成田幼稚園
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳学園多摩中央幼稚園

今年度のテーマは『百花繚乱』 「第四十八回 聖徳祭」開催

今年度も聖徳大学聖徳大学短期大学部の聖徳祭を開催します！テーマの『百花繚乱』は、「いろいろな花が華やかに美しく咲き乱れること」を意味し、「たくさんの学部、学科、クラス、クラブ・同好会などが一丸となつて力を発揮し、より多くの来場者の皆さまが心から楽しかったと思える学園祭にしたい」という願いが込められています。

■聖徳大学・聖徳大学短期大学部
第48回 聖徳祭
11月3日(土・祝)・4日(日)



シンクロ五輪代表・糸山さんが学園長に報告

左より辻田入学センター長、張替取手聖徳中高教諭、糸山尚世さん、糸山真与さん、川並学園長、神本総務部次長

ロンドン五輪のシンクロアイスドスイミングのチーム競技で五位入賞の快挙を果たした糸山真与さん(平成二十一年度聖徳大附属取手聖徳女子高等学校体育科卒、二十歳)が、九月三日(月)、聖徳大学を訪れ、川並弘純学園長に結果を報告しました。

糸山さんは、「カナダに次ぐ五位という成績に終わりましたが、秋には大会が控えている。今後も一年一年を大切に挑戦していきたい」と飛躍を誓いました。また、同席されたお母様の尚世さんは、「高校時代に競技成績が伸びた。栄養バランスのとれた高校の会食も良かった」と語りました。

川並学園長からは、「活躍している卒業生が母校に来てくれるのは、在校生にとって貴重な経験になる」と感謝の言葉が述べられました。

来年、学園は
創立80周年
 を迎えます。

INDEX

| | |
|-----------|-------|
| 学園 | 1 |
| 大学院・大学・短大 | 1・2・3 |
| 幼児教育専門学校 | 1・4 |
| 附属女子中・高 | 1・4 |
| 取手聖徳女子中・高 | 1・4・5 |
| 小学校 | 1・5 |
| 幼稚園 | 5・6 |
| 寄付者芳名一覧 | 7 |
| インフォメーション | 7・8 |

より豊かな未来に向け ISO 認証を更新

聖徳学園は、平成15年11月に日本の教育機関では初めて品質管理システムのISO 9001および環境管理システムのISO 14001、両国際規格の認証を同時取得しました。

その後も、高品質でよい教育を可能にするシステムと地球環境を守る管理システムを継続した結果、平成21年2月に認証を更新しました。国際機関の定めた規格を高いレベルで更新したことにより、聖徳学園は次の高みに向けて新たな活動を展開します。

ISO 9001
 (教育の質マネジメントシステム)
ISO 14001
 (環境マネジメントシステム)

ご意見・ご感想募集「聖徳FLASH」は皆さんの広報誌です。本紙に関するご意見・ご感想を下記サイトにて受け付けております。
<http://www.seitoku.jp/gakuen/toiawase/>
 「その他のご意見・お問い合わせ」まで

「千産千商」をまるかじり

「千産千商」をまるかじり。華やかな野外ステージ発表など、イベント盛りだくさん！ぜひお越しください。

当日は売り切れ必至の「栄養士を目指す学生たち」による数量限定ランチ、ケーキの販売をはじめ、華やかな野外ステージ発表など、イベント盛りだくさん！ぜひお越しください。

■聖徳大学・聖徳大学短期大学部
第48回 聖徳祭
11月3日(土・祝)・4日(日)

第六回「商品企画(文房具)」 プレゼンテーション開催

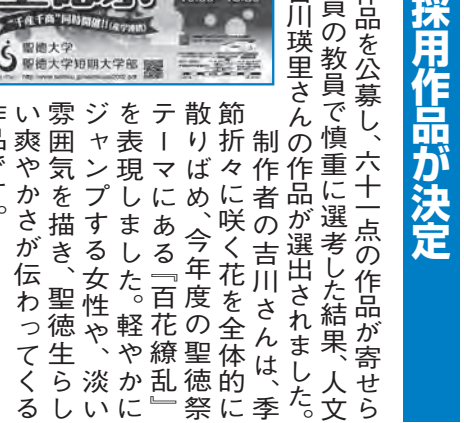
七月二十八日(土)、短期大学部総合文化学科の基礎教育であるキャリアアスタディIIの取り組みとして、商品企画(文房具)のプレゼンテーション大会が行われました。

学科二年生全員参加の下、九グループに分かれて発表し、来賓、保護者、教職員、学生による投票の結果、「二重線が引ける多機能マーカーペン(商品名=Pee-Pon-Pen)」を発表したCenter Islandグループが最優秀賞を受賞しました。

ポスター採用作品が決定

学生から聖徳祭ポスター作品を公募し、六十一件の作品が寄せられました。学友会、聖徳祭委員の教員で慎重に選考した結果、人文学部日本文化学科二年生の吉川瑛里さんの作品が選出されました。

制作者の吉川さんは、季節折々に咲く花を全体的に散りばめ、今年度の聖徳祭テーマにある『百花繚乱』を表現しました。軽やかにジャンプする女性や、淡い雲囲気を描き、聖徳生らしい爽やかさが伝わってくる作品です。



七月二十八日(土)、短期大学部総合文化学科の基礎教育であるキャリアアスタディIIの取り組みとして、商品企画(文房具)のプレゼンテーション大会が行われました。

学科二年生全員参加の下、九グループに分かれて発表し、来賓、保護者、教職員、学生による投票の結果、「二重線が引ける多機能マーカーペン(商品名=Pee-Pon-Pen)」を発表したCenter Islandグループが最優秀賞を受賞しました。

商品説明書
 囲み線が引ける文字が書ける
 二重線が引ける
 スタンプが押せる
 太線が引ける

囲み線が引ける!!
 四角く囲めばさらに見やすい!
 重要!

最優秀賞
 「Pee-Pon-Pen」のプレゼンテーション資料

- 2位以下のグループ(グループ名/商品名/商品説明)
- ・BGIII/わたし色 Only one / 中地を自在に交換できるペンケース
 - ・モリモト/イトップ/糸で綴じるホットキス
 - ・SPIZZA / MERCURY / シャボン玉で空気に絵や字を書けるスプレー式ペン
 - ・Toy ☆ Stationery / SCANS / 雑誌などの好きなイラストをスキャンしてコピーできるスタンプ
 - ・まりも/よくばりポケット / ガバーと中身の紙を自由に組み合わせることができる多機能手帳
 - ・GAP / うつろくん / 一度の筆記で2枚記録できるテスト対策用ノート
 - ・すいかくん/シューボくん / 修正液を一体化した便利なボールペン
 - ・パンキス開発チーム/パンキス / 穴あけパンチ機能とホットキス機能を一体化した文具

第19回 Happy Homecoming ~もう一度大学キャンパスへ~

今年も聖徳祭で卒業生対象のティーパーティーを開催します。多くの方のご参加をお待ちしております。

日時: **11月3日(土・祝) 15:30~**(受付15:00~)
 場所: 聖徳大学 1号館リュミエール

※Happy Homecomingとは、聖徳祭開催30周年を記念し、「卒業された方を大学キャンパスへお迎えしよう」と始まった企画です。
 参加申込・お問合せ先: 聖徳大学学生課 Tel.047-365-1111(大代)

参加費: **無料**

葉興業銀行との連携協定に基づく、千葉県産の魅力ある商品、食材の展示・直売会「千産千商」を第四十八回聖徳祭で開催します。

千葉県では「地産地消」(地域生産、地域消費)を「千産千消」と呼んでいます。千産千商とはこれにかけた言葉です。

今回の目玉は、短大部総

| 学園祭 開催案内 | 専門学校 | 附属小学校 | 附属幼稚園・附属第二幼稚園・附属成田幼稚園・附属浦安幼稚園 | 三田幼稚園 | 八王子中央幼稚園 | 多摩中央幼稚園 |
|------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|---------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| 各校、各園でも学園祭が開催されます。特色を生かした楽しい催しものを企画しています。ぜひお出かけください。 | 文化祭(児童文化研究)発表会 開催日: 11月3日(土・祝) 10:00~14:30 | 第27回 聖徳祭 テーマ: つみあげよう、ひろげよう ぼくたちわたしたちの校風と伝説を 開催日: 10月28日(日) 8:10~15:00 | 大学・短大部 聖徳祭 ステージ発表 開催日: 11月3日(土・祝) [川並香順記念講堂] 10:00~12:30 | 聖徳にこにこまつり 開催日: 11月3日(土・祝) 10:00~14:30 | 聖徳にこにこまつり 開催日: 10月28日(日) 10:00~14:00 | 聖徳にこにこまつり 開催日: 10月21日(日) 10:00~14:00 |



研究室から 第11回 関口明子

諸感覚で楽しむ海外研修

学生が楽しみにしている聖徳大学ならではの意義のある行事の一つに、学問のルーツや異文化に触れる海外研修旅行があります。本年度は児童学科三年生の担任であるため、九月にヨーロッパ研修旅行(ドイツ・チェコ・オーストリア)に同行することになりました。そこで、この旅行をより有意義なものにするために私自身実践してみたいと思っていることがあります。それは、視覚中心を対象を見ないということです。例えば、霧に包まれた山中で視界が遮られた時、人間は周りのものに触れたり、遠くの音にまで耳を澄ませるなど、何とかあらゆる感覚を駆使して情報を得ようとしています。

◆今回学生たちと行く研修旅行では、視覚以外の感覚(聴覚・嗅覚・触覚・味覚)を駆使して情報を得ようとしています。

◆この研修旅行が二十年間も継続しているのは、研修旅行を支えてくださっている多くの方々のおかげであるということに感謝をしながら、諸感覚を駆使して楽しくも安全な旅行にしたいと思っています。

(児童学部児童学科准教授 / 専門は保育学)



ヨーロッパのおみやげ

学外研修Ⅰ(志賀高原)を終えて



みんな楽しく、ハイポーズ!(四十八池)

学外研修Ⅰが、八月三十一日(金)から九月七日(金)の期間、二班に分かれて長野県で実施されました。この研修の目的は、「志賀高原の豊かな自然環境の中で、三泊四日の集団生活をする

ことにより、自制心を養い、思いやりの気持ちを大切にすること、また、地球環境を保持するために私たちがすべきことを考え、実践すること」にあります。

ハイキングで訪れた四十八池や田の原湿原では、多数のリスやウサギが飛びついていました。神秘的な湖水をたたえる大沼池や白根山の湯釜の美しさ、鬼押出し園の溶岩の雄大さに学生たちは感動していました。夜はクラスの団結力を発

四人のピアニストに川並弘昭賞を授与 第三十六回ピティナ・ピアノコンペティション



川並純純学長より表彰状を受ける受賞者

一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)主催による第三十六回ピアノコンペティションが開催され、参加者四万人を超える地区大会(全国二百地区以上で開催)を勝ち抜いた若きピアニストたちが、八月十八日(土)から四日間、東京での全国決勝大会で熱演を繰り広げました。

本学は、音楽学部における専門教育、児童学部および短期大学部保育科における幼児教育者養成の一環として、学生のピアノ教育にとりわけ力を入れており、

全国の警察音楽隊が集合 「平成二十四年度全国警察音楽隊 研修会吹奏楽コンサート」



千葉県警察音楽隊の演奏ではカラーガード隊が登場

聖徳大学SOA音楽研究センター主催による全国警察音楽隊研修会が八月二十八日(火)から四日間実施され、最終日三十一日(金)には一般の方を招き、吹奏楽コンサートが聖徳大学川並香順記念講堂にて開催されました。

全国の都道府県警察本部にはそれぞれ音楽隊が編成されており、交通安全パレードやコンサート活動等で活躍しています。今年も全国四十三の都道府県の音楽隊

揮したかくし芸大会で盛り上がり、キャンプファイアでは学生と教員の全員で輪を作り、フォークダンスを楽しみました。これらの貴重な経験は、今後の学生生活に生かされていきます。

コンペティションに協賛しています。

特に優秀な演奏者には、ピアニストを目指す全国の若者たちの励みになるようにと、「聖徳大学川並弘昭賞」を授与しており、二十二日(水)の表彰式では、以下の四名の方が同賞を受賞しました。

受賞された方々から学長宛のお手紙をいただきましたので紹介します。

■ソノ部門F級

(高等学校三年生以下の部) 中村優似さん(神奈川県・高二)

この度は聖徳大学川並弘昭賞という素晴らしい賞をいただき、本当にありがとうございます。これからも練習を積み重ねてまいります。

■ソノ部門A級

(二十歳以上音楽愛好者の部) 前場 聖子さん(神奈川県)

遠藤 詩子さん(千葉県・中三)

今回このピティナ・ピアノコンペティションの予選・本

クラブ・同好会活動をPR!

部長会では、クラブ・同好会五十五団体の活動が円滑に進むようサポートしています。今年度初めての試みとして、学内の掲示板・エレベーターを活用したクラブ・同好会写真の掲示を行っています。この取り組みは、より多くの方に部活動を知っていただく

聖徳大学学友会副会長・部長会代表 吉村 直美(児童学科三年)

今年度は十二団体が夏合宿を実施するなど、聖徳祭や大会に向けて積極的に活動しています。また、団体活動に加えて個人活動も活発です。レスリング、ダブルダッチ、合唱、水球で活躍している学生もいますので応援をよろしくお願いたします。



活動紹介ポスター

人間栄養学部一期生の「臨地実習Ⅰ〜Ⅳ」が無事終了しました

人間栄養学科長 池本 真二

人間栄養学部人間栄養学科では、三年次に臨地実習と称する管理栄養士業務を実体験する実習が設けられています。この実習はインターンシップに相当するもので、六月に事業所等における給食施設、あるいは学校、幼稚園、保育園、高齢者福祉施設等において給食の運営ならびに給食経営管理実習(臨地実習Ⅰ・Ⅱ)を二週間行います。また、八月〜九月には、医療施設において臨床栄養学実習(臨地実習Ⅲ・Ⅳ)

学生にとっては初めての現場経験で、施設の給食利用者様や病院において患者様と直接接するわけですからかなりの緊張とプレッシャーがあるものと思われまます。また、本年は約二百二十名の実習先を確保し、無事に終了させなければならぬという、教員にとっても責任の重い、かつ厳しい状況でした。

今後の課題も見つかりましたが、学生の頑張りや全教員の協力体制の中、何とか無事に終了することができました。一回りも二回りも大きく成長してくれたと感じさせられる学生の発言や、実習先への感謝の言葉を耳にし、教員冥利に尽きる思いです。実習を通して、ますます思いやりの精神と和の心の大切さを実感してくれたものと思います。



病院実習にて

学友会でエコキャップ運動を継続中!

聖徳大学学友会では、ペットボトルのキャップを集めて業者に引き渡し、ワクチンに換える「エコキャップ運動」を行っています。7月26日(木)に業者に引き渡しを行ったところ、平成24年度前期の回収数は43040個(107.6kg)、ワクチン数は53.8本になりました(これまでの累計回収数295720個、ワクチン数369.7本)。今後も皆さまのご協力お願いいたします。



キャップをきれいにみがいて引き渡します

襷をつなげ

昨年四月に創設された聖徳大学陸上競技部。日夜走り続ける彼女たちの風を感じてもらうために、陸上競技部監督からの便りをお届けいたします。



夏合宿の練習風景

2012年 処暑
この日、のべ10日間(4泊5日×2回)にわたる夏合宿は解夏(げげ)を迎えました。ついでながら、僧侶が夏に集まって修行をすることを「安吾(あんご)」と言い、それが終わることを「解夏(げげ)」と言うそうです。選手たちは連日厳しい練習に耐えて駅伝に向けた夏安吾を無事に乗りきってくれたのです。

いよいよ駅伝シーズンの到来! 創部2年目のチーム目標は15位以内です。はてさて、聖徳乙女たちの運命やいかに...

秋の日に 君駆け抜けて 風染まり

稲穂に実りをもたす秋風を「金風」と言うそうです。9月30日(日)の関東大学女子駅伝では金色にならずともそれぞれの思いを襷に込めて秋風を自分色に染め上げ、印西路を駆け抜けて欲しいと思う今日この頃です。

走走 八月吉日
陸上競技部 監督 佐藤信春

二伸
お便りが、皆さいます。お目二伸ながら
この結果が、出ている。た全
頃には、ご協力いただきまし
ご支援、ご協力いただきまし
各位に感謝申し上げます。

神様たちのいじめ

研究所リレー連載

所長の伝言板 第15回
聖徳大学心理教育相談所



所長 末永 清

「自殺の練習」と称する陰湿ないじめがあること、四十万円あることから世間を震撼させました。し

最近、新聞紙上にいじめのことがよく見られるようになり、中でも、大津市の中学校生徒の飛び降り自殺事件は、その背景に同級生による「葬式(こっこ)や

か、その事実が判明したのは、事件から一年後の裁判からであったことから、学校や教育委員会への強い不信感を生じさせ、教育長が無関係の少年から突然ハ

子供たちが聖徳の巨大パイプオルガンにチャレンジ



初めてのパイプオルガンに子どもたちは興味津々

八月二十二日(水)、聖徳大学オープン・アカデミー(SOA)では、音楽学部・松居直美教授と大学院音楽文化研究科・森亮子さんによる幼稚園児、小学生向けの夏休み無料体験イベ

ント「パイプオルガンワールド」による「こそ」を聖徳大学SOA音楽研究センター共催で、聖徳大学川並香順記念講堂にて開催しました。

当日は、保護者を含め二百七名の方々の来場がありました。この講堂は、ステージに国内最大級のパイプオルガン(オランダ/フレントロップ社製)があることでも有名です。

松居教授による素晴らしいパイプオルガンの演奏の鳴る仕組みの解説がありました。また、森さんの伴奏で子どもたちと一緒にリコーダーなどで「きらきら星」を元氣いっぱい合奏し、会場はとても盛り上がりました。

午後の小学生対象ミニレッスンでは、松居教授の個人指導を受けた子どもたちは皆、曲目を見事に弾きこなしていました。

午後十四の分科会に於いて、幼稚園分野・保育分野の他、食育・アレルギー・放射線についての分科会が行われました。また、音楽・図画工作・集団遊びの実技や、実践で役に立つ事例や問題研究なども行われ、講師・受講者同士が交流を深めました。

研究所リレー講演会

聖徳大学言語文化研究所、児童学研究所、生涯学習研究所、心理教育相談所の所長が「いま、いちばん伝えたいメッセージ」を皆さまにお届けいたします。

10月13日(土) 13:00~14:30

犯罪の心理 — その時、何が人の心を動かすのか —

講師: 末永 清 (心理教育相談所長)

会場: 聖徳大学生涯学習社会貢献センター (聖徳大学10号館) JR常磐線・新京成線「松戸駅」下車、東口徒歩1分

定員: 各講演70名 (申込不要) 参加費: 無料

お問い合わせ: 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 知財戦略課 Tel. 047-365-1111 (大代)

「第四十五回SEITOKU夏期保育大学」開催

七月二十一日(土)に、夏の恒例行事「第四十五回SEITOKU夏期保育大学」が開催されました。今年も子どもを伸ばす、をテーマに掲げ、幼稚園・保育園の園長・施設長を中心に約五百六十名の参加がありました。



講演する内田伸子先生

育者は子どもに命令するのではなく、頭の中で創造できるようにヒントを与え、子どもたちに考えさせ、イメージーションや発達を促す、子どもの援助をすることが大切」と説明されました。

午前中の全体会は聖徳大学川並香順記念講堂で行われ、始めに川並知子名誉学園長、川並弘純理事長、学園長・学長、松戸市教育長代理の柳説子氏の挨拶がありました。

今年、お茶の水女子大学客員教授・名誉教授の内田伸子氏をお招きし、「子どもの創造的想像力を育てる保育者の役割—子どもを伸ばすことばけけ」と題し、ご講演をいただきました。

午後十四の分科会に於いて、幼稚園分野・保育分野の他、食育・アレルギー・放射線についての分科会が行われました。また、音楽・図画工作・集団遊びの実技や、実践で役に立つ事例や問題研究なども行われ、講師・受講者同士が交流を深めました。

「東日本大震災支援「和の絆コンサート」開催!」

九月二日(日)、岩手県盛岡市老舗デパート「川徳」前特設ステージで、東日本大震災支援「和の絆コンサート」が開催されました。



コンサートには子どもからお年寄りまで約300人の市民が集まりました

「和の絆コンサート」が盛岡市に於いて開催されました。昨年の宮城県東松島市に続き、音楽学部卒業生コーラスグループ「ディヴァレソ」が歌声を届けてきました。北海道・東北支部の石川優子さんを中心に、支部の方々のご尽力で実現しました。

午後、ホテルメトロポリタン盛岡にて、初の試みとなる聖徳学園水会(同窓会連合会)、ひじり会(専門学校同窓会)、聖和会(大学短大・大学院通信教育同窓会)による合同主催の香和会(大学短大・大学院同窓会)北海道・東北支部「和の絆コンサート」を開催しました。

幼児教育専門学校

学外研修Ⅰ(かすがの森)を終えて

八月五日(日)から七日(火)まで、長野県佐久市にある学園セミナーハウス「かすがの森」を拠点に、「学外研修Ⅰ」を実施しました。一年生を対象に、教員との交流や、学生同士の親睦を深め、さらに豊かな自然に触れることによる環境教育もあわせて行いました。

当日朝八時に東京を出発し、かすがの森に到着した後、入村式を行いました。入村式後には、レクリエーション大会としてミニ運動会を行いました。競技は、①デカパン競争、②フープくぐり、③ビーチボールバレー、④子ふやしりレーの四つです。係の学生たちはリーダーシップを発揮し、しっかりと進行の指揮をとっていました。夕食後はキャンプファイアを行いました。

三日目最終日、かすがの森を出発して四十分ほどバスで移動し、長門牧場へ行き、アイスクリーム作りを体験しました。その後はおぎのやで釜飯をいただき、途中、交通渋滞もありましたが、無事研修を終えることができました。



牧場でとれた牛乳と生クリームを使用したアイス

公開授業のお知らせ

前期に引き続き、すべての授業や行事を開放し、公開授業を実施いたします。この公開授業は、保護者の皆さまに本学の教育方針や教育実践をご理解いただくために、平成15年度より実施しております。ぜひご参加ください。

〈後期授業見学の日程〉

実施期間：平成24年9月10日(月)～平成25年1月18日(金)
見学時間：1時限目～7時限目 全授業
※土曜日は、実習オリエンテーションおよび補講などを実施いたします。不定期になりますので、お問い合わせの上、お申込みください。
※「授業見学申込書」でお申込みください。
※ご質問・お問い合わせは、本校学生サポートセンターまでお気軽にご連絡ください。
Tel:03-5476-8811 Fax:03-3476-8820
Mail:senmon@seitoku.ac.jp

専門学校同窓会 ひじり会 活動報告

活気みなぎる「リズム講習会」

八月二十六日(日)、ひじり会の大きな活動である第三十回リズム講習会が、猛暑の中、百五十名弱の参加で、聖徳大学短期大学部保育科の中野真紀子准教授の指導の下、開催されました。「楽しい表現あそび2012」のテキストに添って、熱意ある中野先生の美しい動き、キレのあるコミカルな動きや、両手に持った黄色のポンポンを流れるような動きで上に挙げ、青空に届けるような表現に、参加者一人ひとりの中にイメージが膨らんでいきました。

最後に中野先生から、「子どもたちにイメージを膨らませる表現力がつく」と、人とのコミュニケーションや生活が豊かになります。今日の皆さんの学びの上に、オリジナルの工夫をした動きを子どもたちと一緒に作り上げて、先生たちが後押ししてあげてください」とアドバイスがあり、隣同士でうなずき合う笑顔が印象的でした。

四年ぶりの海外研修でハワイ

ひじり会研修旅行が、八月十二日(日)から八月十七日(金)までの六日間実施されました。この研修旅行も今年で二十二回を数え、四年ぶり

附属女子中学校・高等学校

「世界で通用する聖徳教育」

教諭 本間 明信

七月七日(土)から二十日(日)までの十六日間、取手聖徳女子中高と附属女子中高、四十二名が参加したイギリス語学研修を実施しました。

初日、大変混雑することでの出来事です。我々聖徳グループは最後尾に並び、入国審査を待っていました。生徒の後に審査を受けた市川先生は、「先生ですか」と聞かれ、「素晴らしいマナーですね」と褒められたそうです。ただ並んでいる姿を見ても立派だと感じました。

二日目、初めてのプロジェクトには現地の英語の先生が引率してくれました。一通りの観光を終え、生徒に、現在地とフリータイムの行動範囲、集合場所であるバスの位置を地図で説明しました。それを聞いた現地の先生は、「ここで解散したら集合できるわけ

「第二十三回日赤救急法講習会」を実施

を実施

八月六日(月)から八日(水)まで、高校生を対象に第二十三回日赤救急法講習会が本校で行われました。五十名以上の参加希望者の中、定員枠三十二名に入ることができた生徒たちは、赤十字救急法救急員の資格取得を目標に、暑さに負けず真剣に取り組みました。

この講習会では、心肺蘇生法やAEDの使用法、三角巾・副子を使用した応急手当などを学びます。看護系、保育系を希望する生徒の参加が多く、初めてAEDに触れ、訓練用の人形で人工呼吸や心臓マッサージを練習する姿はみな真剣で、とても良い緊張感の中で講習を行うことができました。

最終日には総復習として、「学校で災害にあったら」を想定し、救助者と傷病者に分かれて救助訓練を行いました。初めは戸惑っていた生徒たちも互いに協力し合い、傷病者を観察し、正確な手当を行うことができ、講習の成果を存分に発揮していました。

連日九時から十七時までの長い講義で疲れがあるにもかかわらず、最終日の試験に向けて指導員の先生方に進んで指導を仰ぎ、苦手とする三角巾を使用した包帯法を中心に実技練習を何度も繰



指導員の先生方と一緒に

がない。解散場所を集合場所にしる。他国の生徒で同じことをしたら大変なことになった」と強い口調で言いました。しかし、我々は口をそろえ、「私たちは日本人だ」と言って指示を変えませんでした。当然何もなく時間通りに集合することができました。少し勝ち誇った気持ちになり、時計を指さし、「ジャスト」と答えました。この件により現地の先生の対応が変わりました。

このように、日ごろから行っている教育活動が世界でも通用することが改めて確認できました。生徒たちが積極的に他国の人たちと交流する姿や、英語

取手聖徳女子中学校・高等学校

第六回セイトクナイター陸上競技会開催

九月一日(土)、「第六回セイトクナイター陸上競技会」を開催しました。今年大会は、学校行事等の関係で開催日が例年に比べ約一ヶ月遅れたことや公認の大会等が重なり、参加者が心配されましたが、昨年と同じくらいの参加がありました。当日は、百三十二名が



運営スタッフの皆さんと

二十種目に参加しました。種目は、男女別で小学生の部は、一から三年五メートル走、四から六年一〇メートル走、一〇〇メートル走、ソフトボール投げ、中学生の部は一〇〇メートル走、一五〇メートル走、ソフトボール投げ、一般の部は二〇〇メートル走、三〇〇メートル走、ソフトボール投げの合計二十種目を開催しました。

ナイターでの開催は、芝がより一層きれいで、小学生は裸足になって駆け回り転がったりしていました。また、長距離走レース後には、「気持ち良く走れた」という声も聞きました。

来年度は、七月第四週の土曜日に実施したいと考えています。これからも地域とのコミュニケーションの場、地域の陸上競技の発展につなげていきます。



テムズ川に架かるタワー・ブリッジ前にて

「韓国研修旅行に参加して」

取手聖徳女子中高 インターアクト部顧問 羽鳥成美



朝鮮王朝の王宮「景福宮(キョンボクン)」にて

「二〇一二年国際ロータリー第二八二〇地区インターアクト韓国研修旅行」に引率者として参加しました。茨城県内の高校六校とロータリーの各委員長九名計三十七名で、八月一日(水)から四日(土)の三泊四日間で韓国ソウルへ行ってきました。取手聖徳からはインターアクト部部長二年生二名、一年生一名が参加しました。

生徒たちは、韓国と北朝鮮の国境である板門店の見学が特に心に残ったようです。板門店で微動もせずに警備をしている軍人の姿を見て、日本はいかに平和な国なのかを実感することができました。また、晋成高等学校へ訪問した際には男子校ではありましたが、本校の生徒たちも韓国の伝統的な遊びを

体験すること等を通じて交流を持つことができました。韓国の生徒たちの積極的でバイタリティーあふれる姿や、日本よりも厳しい受験戦争を勝ち抜くために図書館で多くの生徒が勉強している姿を目にし、大きな刺激を受けたのは間違いありません。

韓国のインターアクト年次大会においては、取手聖徳のハンドベル演奏で日本から参加した旅行団全員が「ふるさと」を大合唱できたのも良い経験となりました。部長の石川歩実さんは、「今回の研修では、日本の安全さを再認識したと同時に、海外の恐ろしさも体験することができました。これからは海外に行く機会があると思うので、今回学んだことを生かしたい」と感想を語っています。

附属小学校

わくわくオープンスクールで

礼法体験

昨年度、初めて実施し好評を得た「わくわくオープンスクール」を今年度は、二回「七月二十二日(日)、八月二十六日(日)」にわたって行いました。八から九つのプログラムの中からお好みで選ぶ形式で、本校の教育の一端を体験していただきました。

最も人気の高かったのが「親子で入試問題体験」でした。子どもたちも保護者の皆さまも真剣な様子で取り組んでいました。また、校長自ら行う「実験あそび」ではドライアイス



親子で礼法を体験する貴重な場となりました。両日ともたくさんのお客様に「和の心」を感じていただきました。抹茶・煎茶体験を通じて、「礼法体験」も忘れてはいけません。小笠原流の先生による礼法体験も好評でした。大盛況のうちに終わることができました。子どもたちの「楽しかった」という言葉が、このオープンスクールの成功を物語っています。

第五十四回千葉県吹奏楽コンクールに出演

七月二十九日(日)、第五十四回千葉県吹奏楽コンクール(千葉県吹奏楽連盟、朝日新聞社主催)に参加しました。



力強さと迫力のある演奏を堂々と披露

本校は「ポロップ」という曲で挑戦し、銅賞を受賞しました。この曲は、顧問の榎貝道郎先生から特別講師として来てくださっている田川伸一郎先生に指導を受けながら練習した曲です。

アイヌ語で大草原という意味のこの曲は、力強く、時に研ぎ澄まされた緊張感を持った曲です。今年初めて、夏休みの練習合宿を行い、児童たちは暑い中、一生懸命練習を頑張りました。練習中の表情からは、苦しいけれど自分たちで作りに上げることの楽しさ、音楽が好きだという気持ちが伝わってきました。

金賞を取る勢いで猛練習を重ねた児童たちにとって、銅賞は本意な結果だったかもしれませんが、この経験はこれからの未来で必ず価値あるものとして生きると思っています。結果を受けて感じた気持ちは、次の挑戦へとステップアップする起爆剤となるはずで

幼稚園短信

聖徳学園八王子中央幼稚園

敬老の日の集い

毎年九月に敬老の日にちなんで「敬老の日の集い」を行っています(今年度は九月十五日(土)に実施)。園児たちは、「遠くからおじいちゃん、おばあちゃんに来てくれるんだよ」「お家にお泊りしていくんだよ」とうれしそうに話しています。

当日は、玄関であいさつ係や案内係、プログラム渡し係等、年長組の園児が元気よく声を掛け、自分の係の仕事を生懸命務めながらお迎えします。会が始まると、祖父母の方はとても優しい表情で、温かく園

見たたちの出し物を見てくださっています。園児たちもとてもうれしそうに自信を持って発表を楽しんでいます。

その後は、一緒にリズム遊びやカードゲームをしてとても和やかな雰囲気になり、会場内は笑顔でいっぱいになります。肩たたきの歌を歌いながら、肩たたきをしていく光景はとても温かい雰囲気です。祖父母の方もとても喜んでくださっています。園児たちも祖父母の方と遊べることを



一緒に遊ぶ中で祖父母をいたわる気持ちが持てるようになります

聖徳学園三田幼稚園 第四回夏祭り開催

三田幼稚園では、有志のお父様方の会「えぶろんぱ」による夏祭りが毎年行われています。

夏祭りは、「えぶろんぱ」の活動の中でもメインのイベントで、年中組のお父様が中心となって計画・準備を進めます。

四回目となる今年度は、八月五日(日)の午後開催しました。前日は幼稚園のプール

の片づけから当日の準備が行われました。当日も暑さが厳しい中、休む間もなく準備を進め、いよいよ開始時間となりました。

和太鼓によるオープニングセレモニーが始まり、会場は浴衣姿の園児たち、先生たち、保護者の皆さまで大にぎわいでした。みんなで太鼓に合わせて盆踊りをしたり、わたあめ・かき氷・焼きとうもろこし・金魚すくいなどの屋台やゲームコーナーに大喜びで汗を流しながら参加していました。在園児の「えぶろんぱ」は、もちろん、在園児のおじい様やえぶろんぱOBの方などの協力もあり、盛大に行われました。

在園児だけではなく、未就園児の方も興味を持って参加いただいており、幼稚園の保護者の姿も見ることができ、良い機会となりました。これからも、保護者の皆さまと力を合わせて幼稚園を盛り上げていきたいと思

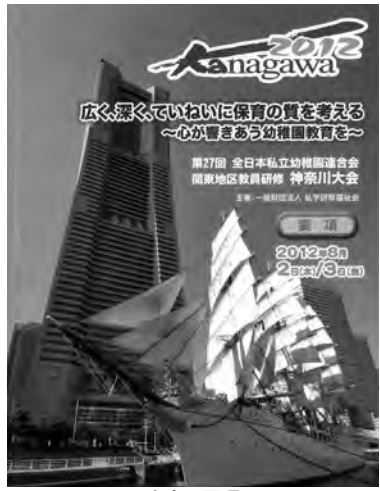


お父様手作りの子どもみこしを担ぎました

喜んでいきます。一年に一度の祖父母の方と過ごせる行事であり、また、祖父母の方に幼稚園での園児たちの様子を見ていただけるとても大切な行事になっています。

聖徳大学附属幼稚園
「全日本私立幼稚園連合会神奈川大会」に参加して

八月二日(木)・三日(金)、パシフィコ横浜にて「第二十七回全日本私立幼稚園連合会・関東地区教員研修神奈川大会」が、「広く深く、ていねいに保育の質を考える〜心が響きあう幼稚園教育を〜」というテーマで開催された。



大会の要項

「環境を通じて行う教育である」「生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものである」ということを踏まえ、未来を担う子どもたちが健やかに成長できるように、これからも日々努力してまいりたいと思います。

「ママで行われました。二日の開会式では、神奈川フィルハーモニー管弦楽団の演奏を聴き、保育の場に音楽を取り入れる楽しさを学びました。」

そして、三日は「保育実践を教育要領・領域の視点で見つめ直す」というテーマで当園が問題提起園として研究発表を行いました。研究内容は、「年長児三名が生活発表会で行った『ジャックと豆のつる』のリズム遊びをベープサポートでやりたい」と自ら始めた活動を記録に残し、教育要領・領域と

照らし合わせることで、幼児がどのような経験をし、その中でどのような点が伸びたのか、また保育者として、どのようなかわりが必要なのか等を確認したものです。

この研究を通じ、保育者は幼児の主体性を重視しながらも、場の状況をいち早くとらえ、その場に適切な環境構成やかかわり方、そして保育者間の連携を図ることが大切であると再確認しました。幼稚園教育は

聖徳大学附属浦安幼稚園
楽しい夏の「園庭開放日」

地域に開かれた幼稚園として、年間十回、休園の土曜日に在園児や未就園児を対象に、お父様・お母様と幼稚園で一緒に遊ぶ「園庭開放日」を実施しています。これは、お子様が幼稚園で遊ぶ姿やその環境をより良く理解していただくためのものです。夏休み中の園庭開放日には夏ならではの水遊び等を取り入れてみたところ、参加される方々が多く、連続して来られる方もいました。

ペットボトルで作ったジョウロやバケツを使って水を運んだり、水をかけ合ったりして遊びました。いつもは友達や先生と一緒に遊ぶ園庭の砂場も、この日は



制作遊びに親子で熱中

お父様のほほましい光景も見られました。また、制作遊びではお手伝いをしていたはずのお母様がいつの間にかお子様より夢中になって、照れている場面も見られました。その他にも一緒に歌を歌ったり、踊ったり、絵本の読み聞かせをしたり、親子でニコニコ笑顔になり、会話も弾んだよう

お父様がスコップで砂を掘り、大きな山や長い川、そしてトンネルを作る姿を見て「パパすごいね」という園児の言葉に一層張り切る

今後もこの園庭開放日をさらに有効に利用できるよう考えて行きたいと思えます。

聖徳大学附属成田幼稚園
ドキドキ、ワクワク「宿泊保育」

八月四日(土)の午後三時ごろ、大きなバッグを持ち、年長児たちが登園してきました。この日は年に一度の宿泊保育の日です。元気にあいさつをする園児、不安そうな顔で家族と離れられない園児などさまざまでした。

夕飯をみんなで食べた後は、楽しみにしていたキャンプファイアです。園庭の真ん中にキャンプファイアの薪が組まれ、その周りにみんなで円をつくりました。その時ドンドンと太鼓の音が鳴り、インディアンが「なおよしの火」を運び、キャンプファイアに火をつけてくれました。中にはインディアンに驚き、泣き出してしまった園児もいましたが、歌を歌ったり、

先生の劇を見たり、花火を見たり、普段の幼稚園では経験できないことの連続に大きな声を出して楽しく過ごしました。

夜八時過ぎ、ホールに敷き詰められた布団の上に、パジャマに着替えた園児たちが集まってきました。年長組の先生に絵本を読んでもらい、ホールの電気が消されました。

疲れが溜まっていた園児もいままら、なかなか寝付けず寝がえりをうったり、じっと目をあけていた園児もいました。



就寝の準備をする園児たち

次の日の朝、自分たちだけ泊まれたという気持ちからか、自信に満ちた顔でニコニコしていました。ひとまわり大きく成長した宿泊保育となりました。

聖徳大学附属第二幼稚園
夏のドリームキッズ(預かり保育)

残暑厳しい八月二十二日(水)、ここに笑顔の園児たちが元気いっぱい登園してきました。中には満三歳児のパンダ組もいます。皆で花壇の花や稲、野菜類に水をあげたり、大好きなプール遊びをしたりいろいろな夏ならではの遊びを楽しみました。昼食時には、かわいいお弁当の味を互いに見せ、喜び合いました。

平成十年よりスタートした『ドリームキッズ』(預かり保育)は、今年で十四年目です。その間、保護者



上手にシャボン玉できるかな

の要望や社会のニーズに対応して預かり時間の延長、長期休暇中の実施体制を整え、定着してきました。本園では保護者の都合

というより、友達同士の交流の場として『ドリームキッズ』を利用されるケースが多いようです。小さい学年の面倒を見

聖徳学園多摩中央幼稚園
楽しい秋の遠足

毎年十月に秋の遠足が行われます(今年も十月十七日(水)に実施)。年少児・年中児は、「府中市郷土の森博物館」へ行きます。

年少児は、「どんぐりいっぱいあるかな」「葉っぱの色も少し違うよ」など会話をしながらどんぐり拾い、きれいな葉っぱを集め、楽しんでいきます。年中児は、昔の学校や役所・薬屋・郵便局等を見学し、古い建物に驚いたり、



広場では芝生に寝転んだり、集団遊びをしたり、お弁当を食べたりします(郷土の森博物館)

不思議がったり、今との違いを感じます。また、木や草花に囲まれながらの散策では、水車の仕組みを見たり、どんぐりの大きさや形の違いに気づいたり、秋の自然に触れる良い機会になっています。

また年長児は、「高尾山」へ行きます。電車が高尾山口まで行き、自分の足で約一時間かけて、頂上近く

の薬王院まで歩きます。初めは余裕の表情で話しながら登っていましたが、急な坂道になると友達を引っ張って、助け合う姿が見られます。薬王院ではお参りをしたり、からす天狗に驚いたり別のようにです。日本一急なケーブルカーに乗って下山するのも楽しみの一つです。下山してあらためて高尾山を見上げ、「こんなに高い山に登ったんだね」と大満足です。

たり、頼られたりすることでの経験は、大勢の中ではなかなか自己を発揮できない園児にとって大きな自信につながっています。毎日預かる人数・時間は異なります。異年齢の幼児たちがそれぞれ興味のある遊びを見て模倣し、学び合

う姿を大切に見守っています。今後も園児にとって安全で有意義な時間の提供、保護者にとって安心とリフレッシュの時間の提供ができる『ドリームキッズ』を目指していきます。

「東京聖徳学園創立七十五周年記念事業募金」寄付者芳名一覧

平成二十三年九月〜平成二十四年八月(寄付分)

ご協力ありがとうございます

Table listing donors and amounts for the 75th anniversary fund. Includes categories like '取引業者関係', '職員関係', 'お祝い会関係', and '個人'.

聖徳学園に寄付をすると税金が戻ります。

寄付金が二千元を超える場合は、超えた金額がその年の総所得金額などから控除され、所得税の控除を受けることができます。

個人 寄付金が二千元を超える場合は、超えた金額がその年の総所得金額などから控除され、所得税の控除を受けることができます。

法人 受配者指定寄付金によって、日本私立学校振興・共済事業団を通じて、寄付していただきますと、法人税法上、その寄付金の全額を損金(算入)できます。

「寄付のお申込みについて」 お電話またはメールで、ご住所とお名前をお知らせください。募金係より募金趣意書、払込用紙をお送りいたします。

「お問い合わせ先」 東京聖徳学園創立七十五周年記念事業募金係

TEL. 047-365-1111(代) bokin@seitoku.ac.jp http://www.seitoku.jp/bokin/

お礼

学園創立七十五周年を記念して開始いたしました「東京聖徳学園創立七十五周年記念事業募金」は、平成二十四年八月現在までに三、〇五二件のお申込みをいただき六億円を超える多額の寄付金となりました。

このほかに附属取手聖徳女子中学校・高等学校のM.L教室改装や、幼稚園の遊具の設置など教育施設・設備にも寄付金を充ちました。

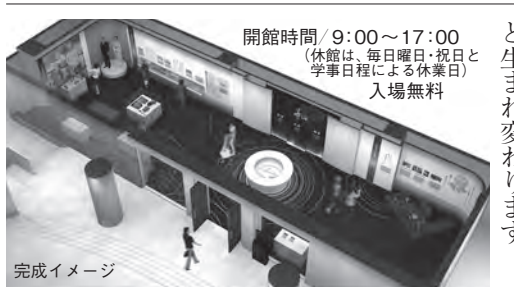


聖徳大学川並弘昭記念図書館入口の寄付者銘板

これからの新しい時代にあわしい環境と制度を整え、創立百周年に向けて世界に羽ばたく学園の形成に邁進したいと思っております。何とぞ引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

十月十三日(土) 建学記念館がリニューアルオープン

聖徳大学八号館一階にある聖徳学園建学記念館では、聖徳学園の創立者川並香順・孝子先生の生い立ちを前史として、昭和八年に「和」を建学の理念として聖徳家政学院、新井宿幼稚園を創立してから、今日に至るまでの学園の発展を実物資料や映像資料によって紹介しています。



完成イメージ

文学部開設記念 「日本近代文学作家の自筆原稿」展
坪内逍遙をはじめとするわが国を代表する近代文学作家18人の自筆原稿を公開します。
入場無料
会期/好評開催中〜平成25年5月18日(土)
時間/9:00〜17:00
会場/聖徳大学8号館1階 ギャラリー

「ピーターラビット・コレクション」展
THE TALE OF PETER RABBIT BY BEATRIX POTTER
F. WARNE & CO.
ピーターとベンジャミンのドール
初版本(1902)
会期/平成24年10月1日(月)〜12月21日(金)[予定]
時間/9:00〜17:00
会場/聖徳大学1号館8階 聖徳博物館

「子どもと保育者のための おりがみ アイディア」
川並 知子・広瀬 知里 共著
[B5版・128頁・1,575円(税込)]
ご注文・お問い合わせは、聖徳大学購買「ジャンティ三越」(大学8号館2階 TEL:047-369-3254)、または、聖徳大学出版会(Tel:047-365-1111)までお申し付けください。

